

- 1 Yutaka N. Zur Kenntnis der tierischen Fette und des Petrolätherextraktes der Leber. Biochemische Zeitschrift. 1908;14:419-429.
- 2 額田豊. 尿中ニ於ケル「アラントイン」排出ニ就テ Ueber die Ausscheidung von Allantoin im Harne. 日本消化機病学会雑誌. 1909;8(6):447-464.
- 3 Nukada Y. Einige Beobachtungen über das Verhältnis der Harnsäure und des Allantoins im tierischen und menschlichen Körper. Mittheilungen aus der Medizinischen Fakultät der Kaiserlichen Universität zu Tokyo. 1910;9:259-262.
- 4 Nukada Y. Über das Vorkommen des Allantoins im Menschenharn nach purinfreier Nahrung. Mittheilungen aus der Medizinischen Fakultät der Kaiserlichen Universität zu Tokyo. 1910;9:263.
- 5 額田豊. 痛風病ノ新陳代謝病理並ニ診断ニ就イテ Zur Stoffwechselfathologie und Diagnose der Gicht. 日本消化機病学会雑誌. 1910;9(1):41-72.
- 6 額田豊. 食塩新陳代謝ニ就テ Ueber Kochsalzstoffwechsel. 日本消化機病学会雑誌. 1910;9(3):155-166.
- 7 額田豊. 【論説】 医学界の新傾向. 食養雑誌. 1912(52):20-26.
- 8 額田豊. 【家庭雑談】 収入と病気其他. 食養雑誌. 1912(56):41-43.
- 9 額田豊. 【一般療法学】 食餌療法ニ於ケル塩類. 日新医学. 1912;1(5):41-57.
- 10 Nukada Y. Untersuchungen über Gicht. Zeitschrift für die Experimentelle Päthologie und Therapie. 1912;11(1):40-50.
- 11 Nukada Y. Ueber die erhöhte Harnsäureausscheidung bei der Krise der Pneumonie. Deutsche medizinische Wochenschrift. 1912;38:1090-1091.
- 12 額田豊. 【白蓮紅蓮】 何うすれば身体が丈夫になるか. 食養雑誌. 1913(70):51-52.
- 13 額田豊. 食塩新陳代謝ニ就テ(抄録). 中外医事新報. 1913(800):1001-1002.
- 14 額田豊. 尿中ニ於ケルアラントイン排出ニ就テ(抄録). 中外医事新報. 1913(803):1210-1211.
- 15 額田豊. 【雑録】 高価な滋養剤も其効果は疑はし. 食養雑誌. 1914(83):59-62.
- 16 額田豊. 安価生活法(1) 生活難問題と食品改良. 日本及日本人. 1914(644):105-111.
- 17 額田豊. 安価生活法(2) 生活難問題と食物選択. 日本及日本人. 1914(645):97-102.
- 18 額田豊. 沃度剤ニ就テ(抄録). 医事新聞. 1914(913):1653.
- 19 額田豊. 沃度剤ニ就キテ. 東京医事新誌. 1914(1890):2077-2083.
- 20 額田豊. 本邦医学の世界的地位. 日本及日本人. 1914(臨時増刊 大正三年発展号):55-63.
- 21 額田豊. 【一般療法学】 急性熱性病者ノ食餌. 日新医学. 1914;3(11):1555-1572.
- 22 額田豊. 糖尿病ニ於ケル精神神経性症状ト治療上ノ注意. 實際医学新報. 1914;7(1):1-7.
- 23 額田豊. 糖尿病ノ療法ニツキテノ注意(抄録). 治療新報. 1914;13(21(166)):1393-1394.
- 24 額田豊. 痛風病ノ新陳代謝病理並ニ診断ニ就テ(邦文)(抄録). 岡山医学会雑誌. 1914;26(289):129-131.

- 25 額田豊. 尿中ニ於ケル「アラントイン」排出ニ就テ(邦文)(抄録). 岡山医学会雑誌. 1914;26(289):131-132.
- 26 額田豊. 動物及人体ニ於ケル尿酸及「アラントイン」ノ関係ニツキテ二ノ実験(独文)(抄録). 岡山医学会雑誌. 1914;26(289):132-133.
- 27 額田豊. 動物性脂筋及肝臓ノ石油「エーテル」浸出物ノ知見ニツキテ(独文)(抄録). 岡山医学会雑誌. 1914;26(289):133-134.
- 28 額田豊. 「プーリンフライ」ノ食後ニ後ケル人尿中「アラントイン」出現ニツキテ(独文)(抄録). 岡山医学会雑誌. 1914;26(289):134-134.
- 29 額田豊. 肺炎分利時ニ於ケル尿酸排出ノ増加ニツキテ(独文)(抄録). 岡山医学会雑誌. 1914;26(289):134-135.
- 30 額田豊. 食塩新陳代謝ニ就テ(邦文)(抄録). 岡山医学会雑誌. 1914;26(289):135.
- 31 額田豊. 安価生活法(3) 生活難問題と食物選択. 日本及日本人. 1915(647):87-90.
- 32 額田豊. 安価生活法(4) 生活難問題と食品選択. 日本及日本人. 1915(648):110-114.
- 33 額田豊. 安価生活法(5) 生活難問題と食品選択. 日本及日本人. 1915(649):86-94.
- 34 額田豊. 安価生活法(6) 生活難問題と食品選択. 日本及日本人. 1915(650):119-126.
- 35 額田豊. 安価生活法(7). 日本及日本人. 1915(651):100-105.
- 36 額田豊. 安価生活法(8) 生活難問題と食品選択. 日本及日本人. 1915(653):116-125.
- 37 額田豊. 安価生活法(9) 生活難問題と食品選択. 日本及日本人. 1915(655):111-124.
- 38 額田豊. 滋養物と粗食. 糖業世界. 1915;6(12):48-49.
- 39 額田豊. 糖尿病ニ於ケル精神神経性症状ト治療上ノ注意(抄録). 神経学雑誌. 1915;14(7):276.
- 40 額田豊. 腎臓の官能と腎臓炎の養生. 保健. 1917;1(1):180-196.
- 41 額田豊. 医学と化学. 化学工芸. 1918;2(6(18)):6-7.
- 42 額田豊. 月給生活者の健康法 見栄張るより頬張れ. 日本一. 1918;4(1):213-222.
- 43 額田豊. 腎臓ノ機能診断 *Über die funktionelle Diagnostik der Niere*. 日本泌尿器病学会雑誌. 1918;7(4):330-343.
- 44 額田豊. 交感及副交感神経ノ緊張並ニ其機能診断ニ就イテ *Über die Sympathico-und Parasympathicotonie und ihre funktionelle Diagnostik*. 日本消化機病学会雑誌. 1920;19(2):95-100.
- 45 額田豊. 消毒法. 大日本私立衛生会雑誌. 1920;38(447):275-277.
- 46 額田豊. 効能のない輸入滋養剤. 食物の養生. 1921;7(10):19-21.
- 47 額田豊. 美食か粗食か. 食物の養生. 1924;10(8):19-20.
- 48 額田豊. 大食か少食か. 食物の養生. 1924;10(9):9-11.
- 49 額田豊. 安価で栄養のある食物. 食物の養生. 1924;10(11):13-15.
- 50 額田豊. 栄養と健康. 通信協会雑誌. 1925(200):26-29.
- 51 額田豊. 【家庭衛生】 栄養の不足は疾病にかかり易い. 済生. 1925;2(10):44-45.

- 52 額田豊, 松崎武男. 組織ノ抵抗力ト永続的後天性免疫ノ本態. 日本伝染病学会雑誌. 1928;3(2):118-126.
- 53 額田豊. 注射療法の利害功罪. 臨床医学. 1931;19(9):1242-1243.
- 54 額田豊. 内臓疾患の診断難. 臨床医学. 1932;20(3):429-430.
- 55 額田豊. 肺結核と安静療法. 療養知識. 1939(327):28-34.
- 56 額田豊. 冬季療養上の特別な注意. 療養知識. 1939(336):20-23.
- 57 額田豊. 結核予防対策焦眉の問題に就いて. 済生. 1939;16(11):18.
- 58 額田豊. 結核療養上の三問題. 療養知識. 1940(347):40-42.
- 59 額田豊. 中流社会の生活難. 別冊中央公論. 1965;4(2):221-229.

このリストはこちらに掲載されています  
額田記念東邦大学資料室  
<http://www.archives.toho-u.ac.jp>